

ハニトの〇〇な話

No.7



やっと春が来ましたね。私は毎年、冬から春に変わると、体も心も暖まって、気持ちも晴れて、新たな挑戦をしたくなります。お正月ではないけれど、世界が生まれ変わったように私には見えるので、良いことがたくさんやってくる気がします。みなさんはどうでしょう？

先月、プーリムの話をししましたね。ネットで「プーリム・カーニバル」を検索すれば『驚いて嬉しくなるよ』という話をしましたね。検索してみた方はすぐ分かったでしょう？そう！一番で出てくるのはナント！八百津町です。すごいと思いませんか？

八百津の「プーリム・カーニバル」は今年で11回目となりました。だれも知らなかったイスラエルのお祭りはここまで続けられると思っていなかったので、とても嬉しいです。

プーリムの始まりは2000年以上前のことです。ユダヤ人がペルシャ王国（現代のイラン）で暮らした時代の話です。ユダヤ人は世界のどこで暮らしていてもその国の法律に従いながら、自分たちの宗教を必死に守りました。何があっても、自分たちの宗教を守るユダヤ人たちが周りから嫌われたり、無理矢理に宗教を変えるようにと迫害をされたりしたことが歴史の中に多くありました。ペルシャ王国でも、ユダヤ人を気に入らないで、すべてを殺そうとした大臣がいました。王様に理解を得て、殺す日まで決まったけれど、ユダヤ人は神様の手に助けられて、殺そうとした大臣が反対に殺されました。こうして、悲しみの日が喜びの日になり、プーリムで仮装する風習が生まれました。いつもと違う格好で、日々の悩みやイヤなことを忘れて、ただただ楽しんで遊ぶ、それがプーリムです。

今年の八百津のプーリム・カーニバルは3月16日に行われました。以前ここで紹介した「八百津国際交流協会」のメンバーたちで2月の初めからいろんな準備をし始めました。プーリムの雰囲気にするため、みんなでカラフルなポスターを書いたり、飾りを作ったり、伝統のお菓子「オゼン・ハマシ」を焼いたりしました。準備することがたくさんありましたが、みんなで仲良く、楽しくできました。そして、本番ではラフターヨガ（笑うヨガ）を始め、手作りの人形劇やゲーム、仮装コンテストなどを楽しみました。最後におやつタイムにオゼン・ハマシをおいしくいただいて、プーリムが大成功に終わりました。今年の参加者は約80人でした。

来てくれたみなさん、準備を一生懸命してくれたみなさん、ありがとうございました！来年もみんなで楽しみましょう！



八百津町の国際交流協会は会員募集中です。興味のある方はぜひ、声をかけてください。

ハニトさんへの質問は
hanito@town.yaotsu.lg.jp までどうぞ！